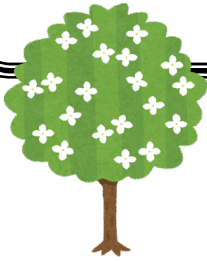


## 学校だより

9月号

<http://www.ed2.city.yamato.kanagawa.jp/s-chu/>

## 「わくわく」を原動力に

校長 吉田 美佳

街路樹に、濃いピンク色や真っ白な花がたわわに咲いているのを見かけ、一緒にいた友人に何の花かと尋ねたら、「サルスベリ」の花だと教えてくれました。サルスベリは漢字だと「百日紅」と書き、夏の酷暑でも負けずに長期間、次から次へと開花し続けるそうです。ボリュームがあり、遠くからでも目を惹く鮮やかな花に、夏バテ気味の心と身体に元気をもらいました。

さて、教師は夏休み中にさまざまな研修を受け、自己研鑽に励んでいます。8月22日・23日には、大和市教育委員会主催の研修が行われました。スタディサプリの活用方法を主とした学力向上研修では、Chromebook を使って実際にどんな機能が入っていて、どのような場面で活用できるか実践しながら学びました。

8月5日の県央地区教育課程研究部会では、大和市だけでなく、綾瀬・海老名・座間・厚木愛甲の各市からレポートを提案し、協議します。「一人ひとりの可能性を引き出し、育てるために」というテーマで行われた特別支援研究大会では、中央林間小学校の特別支援学級の担任が、大和市生涯学習センター（シリウス）のホールにおいて、これまで本校で取り組んできた「なかよしタイム」の実践レポートを発表し、「『楽しい』から広がる交流級の環境調整」について提案しました。

7月20日には、大和市消防本部救急救命課の方を講師として依頼し、熱中症に関する研修を行いました。また毎年、心肺蘇生法研修も行い、胸骨圧迫や人工呼吸、AEDの使い方などを学んでいます。さまざまな研修を通じて、教師は子どもたちの学びや安全をより確かなものになるよう努めています。



子どもたちも夏休みに、日頃の生活ではなかなかできない体験ができたのではないのでしょうか。

7月23日のつきみ野自治会夏祭りでも、浴衣を着ている子どもたちや卒業生に会いました。飲食や出店なしなど感染対策を講じた夏祭りでも、開催にはご苦労が多かったことと思います。会場では、つきみ野中学校の吹奏楽部の演奏のあと、久しぶりの盆踊りが行われました。出会ったどの子どもも「お祭り楽しい」と、とっても嬉しそうに笑顔で話しかけてきました。盆踊りという日本の文化が、夏の風物詩として子どもたちの心に残ったことと思います。地域の方々から子どもたちが大切にされていること、温かく見守られていることを感じました。



さて、2学期の学校でも、遠足やキャンプ、修学旅行など、夏休みに負けないくらいの「わくわく」がたくさん待っています。学校生活ならではの「楽しい」から広がる交流や、友だちと学び合える日々を大切にしてほしいです。心を動かした貴重な体験や、努力して手に入れた成果などを共有しながら、大きく飛躍できる2学期にしていきたいと思います。